



第41回 平家配役表

※ 今年は割引制度がございます

【割引制度詳細】

[昨年ご参加の方] [ご家族・ご友人と一緒に参加される方は、代表者とその同伴者]の参加料を半額といいます(同伴者の人数は問いません)。申込書備考欄にご記入ください。記入例:「昨年参加」、「友人と参加 代表者 平 太郎」、「友人と参加 同伴者 山田 花子」※団体ツアーの方は対象外です。個別にお問い合わせください。

| No. | 衣装 | 配役 | ふりがな | 解説前の役所 | 備考 | 新価格表 | 募集数 | 応募条件 |
|-----|------|------|--------|--------|--|--------|-----|--------------------------------------|
| 1 | 安徳天皇 | 安徳帝 | あんとくてい | 第81代天皇 | 弟・時忠から強引に縁談を進められ清盛と結婚する。生い立ち、高い志を知るにつれ理想の夫と気づく。平家一門の結束、榮華に努め、寛大で肝が据わった女性。清盛亡き後、頼朝との決戦を決断、一族を率いて壇ノ浦へ向う。令戦敗北後、安徳天皇を抱き寄せ海に身を投じた。 | 50,000 | 1組 | 安徳帝は小学生以上(身長140cm以下)で、二位ノ尼役とは親子が望ましい |
| | 二位ノ尼 | 平 時子 | ときこ | 二位ノ尼 | | | | |
| 2 | 建礼門院 | 平 徳子 | とくこ | 建礼門院 | 高倉天皇の中宮として安徳天皇を産む。令戦敗北後、安徳帝とともに入水したが、彼女だけ助けられ京に送られる。まもなく出家し、大原寂光院で余生を送った。 | 46,000 | 1名 | 女性 (身長140cm以上) |
| 3 | 建春門院 | 平 滋子 | しげこ | 建春門院 | 輝くように美しい王朝文学のお姫様として育てられる。兄・時忠から頼まれ清盛と対立する後白川天皇に嫁ぎ、王家と平家の間を取り持つが、1176年(35才)突然の死により双方の間に再び暗雲が立ち込める。 | 46,000 | 1名 | 女性 (身長140cm以上) |
| 4 | 兜武者 | 平 宗盛 | むねもり | 平家姫師 | 父清盛の死後は平家一門を統率したが、長兄重盛ほどの力はなかった。1182年権大納言・内大臣に昇進するが翌年木曾義仲が平氏の軍勢を打ち破ると安徳帝と共に都を捨て西に逃亡する。壇ノ浦では死にきれずに長男清宗と共に捕えられ鎌倉に護送される。 | 50,000 | 1組 | 親子武将は親子が望ましい 清宗役は小学校4~6年生用の鎧兜を着用 |
| | 子供甲冑 | 平 清宗 | きよむね | 左衛門督 | | | | |
| 5 | 兜武者 | 平 知盛 | とももり | 大将中納言 | 壇ノ浦の令戦での大将。勇猛果敢な武将としてられる。唐船に稚兵を、和船によき人を乗せるなど源氏の目をあざむく策を用いたが、ついに敗北する。「世の中はいまはかうと見えて候」と述べ、「見るべきものはすべて見ついまは自害せん」といい放ち潔く入水する。赤間神宮七盛塚に眠る。 | 46,000 | 1名 | 男女問わず (身長140cm以上) ※勝闘をお願いいたします。 |
| 6 | 兜武者 | 平 教経 | のりつね | 能登守 | 平家一門最強の武将にして義経最大の好敵手といわれる。屋島の令戦では義経を追い込み盾となった佐藤継信を射抜く。壇ノ浦でも義経を追い込むが最後の好機を失ったことを悟り、源氏の武将を抱え海へと消えた。赤間神宮七盛塚に眠る | 46,000 | 1名 | 男女問わず (身長140cm以上) |
| 7 | 兜武者 | 平 時忠 | ときただ | 権大納言 | 壇の浦の戦で捕虜となるが、源義経を婿に迎えて配流回避を画策。(しかし源頼朝の圧迫によって能登に配流され同地で死去した。時忠は、「平氏一門にあらざらむ人は皆人非人なるべし」と揚言し、「平閑白」とも称された | 46,000 | 1名 | 男女問わず (身長140cm以上) |
| 8 | 兜武者 | 平 教盛 | のりもり | 參議中納言 | 兄弟のなかで、清盛から最も慈しまれ、身近くあって榮達し、その側近に終始していた。清盛没後は一門の長老として、平宗盛を補佐して洛中守護の參謀となる壇の浦の戦で役した。 | 40,000 | 1名 | 男女問わず (身長140cm以上) |
| 9 | 兜武者 | 平 時実 | ときざね | 左近衛中将 | 時忠の長男で壇の浦の戦後に父と共に捕らえられて、周防に配流と決定したが、京に留まる。源義経の挙兵に同行したが、捕らえられて鎌倉に連行されたうえ、上総に配流された。 | 40,000 | 1名 | 男女問わず (身長140cm以上) |
| 10 | 兜武者 | 平 資盛 | すけもり | 右近衛中将 | 藤原基房の行列の前を横切り行人に路上で恥辱を受ける。怒った父重盛が報復し「乗合事件」の発端を作る。赤間神宮七盛塚に眠る。 | 40,000 | 1名 | 男女問わず (身長140cm以上) |

| | | | | | | | | |
|----|-----|-------|-------|--------|--|--------|----|------------------|
| 11 | 鳥帽子 | 平 経盛 | つねもり | 参議修理大夫 | 平家一門と運命を共にし、子息の経正、経俊、敦盛らは一の谷の戦で死に、自らは壇の浦の戦で入水した。和歌をよく愛し仁和寺の和歌会によく出入りをしていた。赤間神宮七盛塚に眠る。 | 30,000 | 1名 | 男女問わず（身長140cm以上） |
| 12 | 鳥帽子 | 平 有盛 | ありもり | 左近衛少将 | 播磨（兵庫県）三草山や備前（岡山県）藤戸での源平の戦いで大将軍をつとめる。壇ノ浦の戦いで敗死した。通称は小松少将。赤間神宮七盛塚に眠る。 | 30,000 | 1名 | 男女問わず（身長140cm以上） |
| 13 | 鳥帽子 | 平 盛国 | もりくに | 伊勢守 | 平清盛の家人として多くの功績を挙げる。先代・忠盛からの家人であり、長老的存在。清盛死後宗盛の側近として支える。盛国の家で清盛は没したと言われている。 | 30,000 | 1名 | 男女問わず（身長140cm以上） |
| 14 | 鳥帽子 | 平 清経 | きよつね | 左近衛中将 | 以仁王が参兵したとき園城寺攻撃の大将となり、東国の源氏追討副将軍をつとめる。平家一門の都落ちにいたがい、寿永2年10月豊前柳浦（福岡県）で入水した。赤間神宮七盛塚に眠る。 | 30,000 | 1名 | 男女問わず（身長140cm以上） |
| 15 | 鳥帽子 | 平 忠光 | ただみつ | 上総五郎兵衛 | 山口県下関市の赤間神宮にある七盛塚に眠る。 | 30,000 | 1名 | 男女問わず（身長140cm以上） |
| 16 | 鳥帽子 | 平 景俊 | かげとし | 飛驒四郎兵衛 | 山口県下関市の赤間神宮にある七盛塚に眠る。 | 30,000 | 1名 | 男女問わず（身長140cm以上） |
| 17 | 鳥帽子 | 平 盛継 | もりつね | 中治郎兵衛 | 山口県下関市の赤間神宮にある七盛塚に眠る。 | 30,000 | 1名 | 男女問わず（身長140cm以上） |
| 18 | 鳥帽子 | 平 行盛 | ゆきもり | | 壇ノ浦の戦いに元暦2年（1185年）3月、壇ノ浦の戦いにおいて最終的な敗北を喫し、従兄弟の資盛、有盛とともに入水した。 | 30,000 | 1名 | 男女問わず（身長140cm以上） |
| 19 | 鳥帽子 | 藤原 景清 | かげきよ | | 「悪七兵衛」（あくしちびょうえ）の異名を持つほど勇猛であった。平安末期における治承・寿永の乱（源平合戦）において活躍した。壇ノ浦の戦いで敗れた後に捕られ、八田知家の郎で果てた。 | 30,000 | 1名 | 男女問わず（身長140cm以上） |
| 20 | 鳥帽子 | 鳥帽子 | えぱい | | | 10,000 | 7名 | 男女問わず（身長140cm以上） |
| 21 | 女官 | 市女笠 | いちめがさ | | | 10,000 | 2名 | 女性（身長140cm以上） |
| 22 | 女官 | 被衣 | かつぎ | | | 10,000 | 5名 | 女性（身長140cm以上） |
| 23 | 従者 | 従者 | じゅうしゃ | | | 10,000 | 6名 | 男女問わず（身長140cm以上） |

